

教師の授業力向上の研修

12月3日(月)4限

玉置 崇 教授(岐阜聖徳学園大学)の示範授業 数学科1年3組

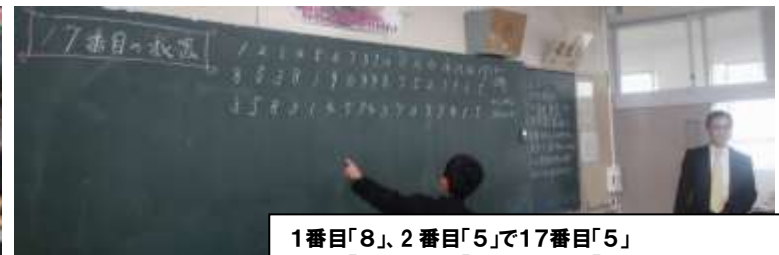


玉置先生が1年3組の生徒との出会いで話されたこと

- ・表情発言。わかった時の顔、わからない時の顔、顔で自己表示してください。
- ・ふざけた発言はいけません。真剣に考えたなら間違えてもよい。
- ・授業はみんなで作るもの。ひらめいたら、どんどん発言してください。

生徒の学習意欲を高める導入

- 「17番目の秘密」から連想することは？
- ・法則があるのか
 - ・何かがかくされている



1番目の数をどうする。生徒に「8」と言わせる。2番目は先生が決めていいですか。2番目を「5」とする。順番に全員に指名し、表の作り方を理解させる。前の数字をたして、 $8+5 \Rightarrow 3$ とする計算の仕方は？

- ・「10」をなくす
- ・「10」をひく
- ・1けたの数だけ書く

1番目「8」、2番目「5」で17番目「5」

1番目「3」、2番目「5」で17番目「5」

この表で、どんなことに気づいたか。

- ・上下で同じ数になるのは3つおきになっている。
- ・17番目はいつも「5」になる。
- ・2番目の数を変えたら、どうなるのか。



2番目を「3」にしたなら、17番目はどうなるか。1番目の数を変えて、どうなるかを考えさせた。2番目が「3」の時、17番目は「1」になる。



2番目の数を変えると、17番目がどうなるか。クラスのみんなで分担して調べた。



2番目の数と17番目の数の関係を見つける学習として、4人グループで真剣に考えさせた。



4人グループで「17番目の秘密」について2番目と17番目の数を足したり、引いたり、かけたり、わったりして、法則性を見つけようとした。どのグループも秘密を見つけようと本気で学習に取り組んでいた。「あ、できた」と興奮した声が聞こえ、玉置先生がすぐにその生徒の考えを確認された。そのアイデアは正しかった。そのグループ全体も笑顔いっぱいだった。クラス全体にそのアイデアを説明させた。

12月3日(月)、4限、1年3組で、岐阜聖徳大学教授の玉置崇先生による示範授業が行われました。額田中学校教職員すべてが、「主体的・対話的で深い学び」の授業をつくりあげるための「教師の出」についての研修をしました。玉置先生は、初めて会った1年3組の生徒とのコミュニケーションを図りながら、生徒を数学の舞台に引き込んでいきました。「17番目の秘密」を発見しようと、生徒は真剣に考えていました。玉置ゼミの大学生3名が、授業記録をとりながら、授業分析の資料を作成していました。玉置先生の師範授業から、「主体的・対話的で深い学び」のポイントを学びました。

この日の午後、形埜小学校に出かけ、6年生6名の算数の研究授業を参観しました。額田中学校数学科4名と形埜小学校全教職員による研究協議会で、玉置先生から小中連携につながる算数数学科の指導のあり方を教えていただきました。

額田中と形埜小合同の充実した研修会になりました。



12月3日の午後、形埜小学校で研究協議会



授業分析をした玉置ゼミの3名